

第1回

始めよう！情報I ～問題解決のチカラ～

監修・講師
赤堀 侃司

◇◆◇ 今回学ぶこと ◇◆◇

人生は問題解決の連続です。受験、就職、友人関係から、職場や社会の課題まで…。しかも解決方法はひとつじゃない。みんなの知恵を借りて協力しながら解決していく必要があります。解決を手助けするいろいろな道具もあります。今回は、情報Iの柱である問題解決について、アイデアの発想法や道具の使い方、問題解決の流れを学びます。

番組を見る前に確認しよう

問題解決、PDCA サイクル、発想法、KJ法、シヤムボード、ブレインストーミング、量より質、便乗、マインドマップ

1st ステージ

アイデアを大量生産しよう

アイデアを考えることは簡単ではありません。面白い発想だが、予算がかかりすぎる、高度な技術力が必要だ…。しかし優れたアイデアは多くのアイデアから生まれるモノ。駄目だ、無理と思わず、アイデアの大量生産に挑戦してみよう。

Mission

ひとり 500 円でパーティーをやろう！
食べ物も出し物も用意すること

Q. あなたならどうする？アイデアをたくさん出してみよう。可能であれば、他の人のアイデアも聞いて、書き出してみよう。

 **2nd ステージ 発想法にチャレンジ**

※番組を見て確認しよう

うまくいかない時、人は友達に電話するとか、インターネットで調べるとか、の方法を用います。それは、自分だけの発想では、いつも同じ思考に入ってしまうからです。いくつかの発想法を体験して、活用してみよう。

Q. 数人で多くのアイデアを生み出す手法のひとつが、ブレインストーミング。ブレインストーミングをするときに、大事なことは？

Q. ブレインストーミングにはルールがある。空欄を埋めよう。

「質より量」「をしない」

「自由に発想し、自由に発言する」「他人の意見にし、発展させる」

Q. さまざまな考えを分類し、まとめ、新しい発想を生み出すための方法が KJ 法。あなたがやってみたいパーティープランについて、分類し、どれがやりたいか考えてみよう。

 **3rd ステージ** **問題解決の流れとは**

夕食の買い物をする時でも、予算をオーバーしたり、思ったほど美味しく作れなかったりすることがある。その場合どうする?失敗したときこそ役立つ、問題解決の流れを理解し、実行してみよう。

Q. 何かやっても、うまくいかないことがある。どうしたらいいだろう?

(1) いつもあなたがやっていることを書き出そう

◀ (2) 番組を見て、あなたがやりたい、必要だと思ったことを書き出そう。

Q. なぜ、問題解決の流れを学ぶのだろう?番組から考えてみよう。



チャレンジ問題 ~「情報のチカラ」を獲得し、地球を救え!~

Q1 次の a から e までの中で、ブレインストーミングのルールでないものは、どれ?

- a) 自由に発想し、自由に発言する
- b) 他人の意見に便乗し、発展させる
- c) 批判をしない
- d) 関係のない発想は控える
- e) 質より量を重視する

Q2 次の a から e までを、問題解決の順番になるように並べるとどうなるかな?

- a) 自分や他人にも見てもらって、振り返って、改善する
- b) 問題を把握する
- c) 得られた情報から解決方法を考え、実行の計画を立てる
- d) 情報技術を活用し、計画を実行する
- e) 情報を収集し、問題を明確にして、問題解決のゴールを考える

Special

Q3 **Mission** あなたも「10年後の自分」をマインドマップを使って描いてみよう。



(参考にしよう)
マインドマップインストラクター松岡克政さんのマインドマップ

Q2

Q1

検索

このページ掲載の文章・画像の無断転載及び商用利用を固く禁じます。